

(仮称) 飯田駅前プラザ整備事業支援 並びに 公共空間(創発エリア)の整備及び運営について



令和4年2月1日

飯 田 市

目次

はじめに	2
1 整備の目的	4
2 整備事業の概要	5
3 公共空間（創発エリア）の考え方	7
4 （仮称）飯田駅前プラザ2・3階公共空間（創発エリア）に導入予定の機能	9
5 公共空間（創発エリア）のレイアウトと機能のイメージ	13
6 交流と創発を生み出す仕掛け	17
7 （仮称）飯田駅前プラザ及び公共空間（創発エリア）の管理・運営について	23
8 今後の事業スケジュール（予定）	25

はじめに

2018（平成 30）年 9 月、JR 飯田駅前にあった大型商業施設「ピアゴ飯田駅前店（以下、「旧ピアゴ」という。）」が閉店しました。地域住民の生活を支える買い物機能、JR 飯田駅前のにぎわいの拠点の拠点を失ったことに対し、市民の皆さんから後利用についての要望や期待の声が多く上げられました。

こうした中、2019（令和元）年 11 月、市内の建設業者である吉川建設株式会社により、旧ピアゴの土地・建物が取得されました。取得時の記者会見において吉川建設株式会社から、「本社機能の集約に加え、駅前空間に大規模施設が閉ざされたままになっていることへの危機感から、市に対して地域から要望のあった買い物のできる店舗や学生の憩いの場の設置に応えるなど、地域貢献の視点で施設を整備・活用したい」との意向が示されました。

これを受けて、飯田市では、中心市街地唯一の駅前大型商業施設が閉店したことによって商業機能が低下し、来街者も減少した JR 飯田駅前の活力を取り戻すため、吉川建設株式会社と連携して賑わいの拠点づくりについての検討を進めることとしました。この結果、吉川建設株式会社が旧ピアゴを（仮称）飯田駅前プラザとして整備することになりました。

吉川建設株式会社は、整備にあたり「飯田駅前プラザ株式会社」を設立し、資産を譲渡し事業運営を行います。

また、飯田市公民館については、2015（平成 27）年度から公共施設マネジメントにおいて、今後のあり方を優先的に検討する施設として検討を続けてきました。この結果、「市民の安全を確保すること」、「リニア開通後を見据えた必要最小限のコスト」を前提とし、次の理由から、客席型ホールを除く飯田市公民館機能を（仮称）飯田駅前プラザへ移転し、市民の多様なまちづくりの機能を併設することにより、学習から実践に繋げるまちづくりの新たな拠点として検討することとしました。

- ① JR 飯田駅前は、誰もが利用しやすい電車、バスなどの地域公共交通の結節点であること
- ② 飯田駅周辺は中心拠点（中心市街地）のゲートウェイ（玄関口）であること
- ③ 現在の飯田市公民館の建物をそのまま使いつづけることは耐震補強工事、維持管理費などに相当な費用がかかること
- ④ 中心市街地にある、会議場、宿泊施設、飲食店、公共機関等の既存ストックを活用した「まちなか MICE※1」の形成が期待でき、いいだ人形劇フェスタ、飯田丘のまちフェスティバル等の市民の文化活動が発信できるステージがあること

更に、飯田市では、ムトス※2 を合言葉に、愛する地域を思い自分からできることをやってみ

ようという自発的な意志や意欲とそれに基づく具体的な行動による様々なムトス飯田事業、若者をターゲットにした助成事業等、ムトスの精神を後世に伝えていく事業による地域づくりが行われてきていることを踏まえ、(仮称)飯田駅前プラザ内に設置する公共空間を、ムトスの精神で取り組む活動を支援する拠点としても整備・運営することとしました。

こうしたことから、(仮称)飯田駅前プラザに入居する公共空間を「交流が学びを促進し、学びが交流を促進し、新たな価値を創発する場所(創発※3エリア)」とし、具体的な検討を進めてきました。

※1 MICE(マイス)

企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントの総称。企業・産業活動や研究・学会活動等と連携している場合が多いため、一般的な観光とは性格を異にする部分が多く、観光振興という文脈でのみ捉えるのではなく、「人が集まる」という直接的な効果はもちろん、人の集積や交流から派生する付加価値や大局的な意義についての認識を高める必要がある。

※2 ムトス

「ムトス」とは、「まさに~しようとする」という意思を表す言葉(「~せむ(ん)とす」)を引用したもので、行動への意思や意欲を表している。昭和57年3月に飯田市が掲げた「10万人都市構想」で理想とする都市像の実現に向けての行動理念、合言葉としてこの言葉を使用し、以来、地域づくりの合言葉としてこの言葉を使用している。

※3 創発

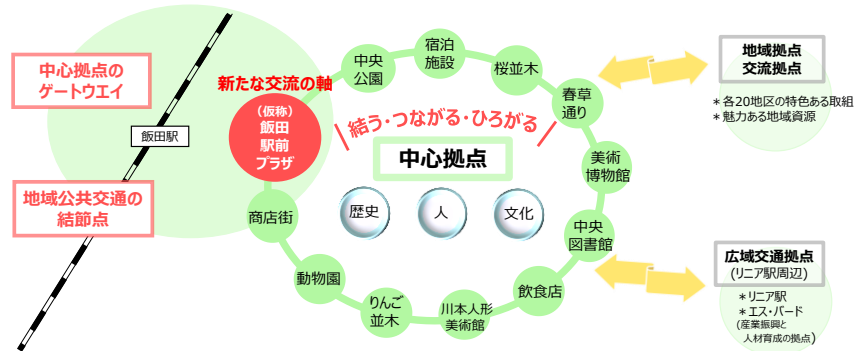
予測や計画、意図を超えたイノベーションが誘発されること。人や団体等の経験や能力、活動、発想を組み合わせて創造的な成果に結びつける取組。

1 整備の目的

中心市街地においては「中心性・求心性・魅力」を活かし、ヒトやモノが集まる活気あるまちを目指し、まちづくりの精神であるりんご並木にて開催される歩行者天国イベントをはじめ、周辺にある動物園・博物館・飯田城跡などの歴史・文化の集積を核とし、近接する桜並木や春草通りなどでも様々な取組が、多様な主体が連携し官民連携の活用の中でなされてきています。

リニア中央新幹線の開通を見据え、中心拠点としての中心市街地の魅力づくりを更に連携し広げていくことが必要であり、都市機能の増進及び経済活力の向上を総合的かつ一体的に推進することは、中心市街地のみならず、飯田市およびその周辺の地域の発展にとって、有効かつ適切であると考え、ため、「公民館機能」「賑わい交流機能」「商業施設」を導入した新施設を整備することにより、都市機能の集積の促進を図り、賑わいの再生に取り組みます。

また、地域公共交通の結節点であり中心拠点のゲートウェイである JR 飯田駅前エリアを、「新たな交流の軸」と位置づけ、人々が出会い、人々が交流する丘のまちの居場所機能を強化することで、まち全体に波及する相乗効果を以下のとおり目指します。



【新たな交流の軸からまち全体に波及する相乗効果】

- ◆まちの回遊性を促進し、既存ストックを活用・強化・進化させ中心拠点の魅力を磨き上げ賑わいを創出します。
- ◆まちなか MICE 機能を充実させ、域内外の人々がつながり、交流できる拠点とします。
- ◆多様な価値観を持った人々の交流や気づき、学びから新たな価値を創発し、この創発を通じて地域の将来を担う人材を確保し育成します。特に、高校生が立ち寄りやすい立地を活かし、高校生が自発的、主体的に活動する中で、地域の将来を担う人材として育成していきます。
- ◆新たな価値の創発に必要なあらゆる情報の集約と活動を戦略的に発信できる、地域の魅力の情報発信の拠点とし、交流人口や関係人口の創出・拡大につなげていきます。

2 整備事業の概要

(1) (仮称) 飯田駅前プラザの施設概要

飯田駅前プラザ株式会社の建物の各階に商業施設、公共空間、オフィス(吉川建設(株)、生命保険会社、学習塾、警備会社)が入居し、それぞれの機能を担うとともに、連携による相乗効果を期待します。なお、この施設全体を現段階では「(仮称) 飯田駅前プラザ」と称することとします。

飯田市は、(仮称) 飯田駅前プラザ整備における事業支援として、第3期飯田市中心市街地活性化基本計画「旧ピアゴ他駅周辺低・未利用地活用整備事業」に位置付け、国の補助制度(社会資本整備総合交付金)を活用しながら、整備・運営主体となる飯田駅前プラザ株式会社の事業支援を行い、都市機能の集積の促進を図ります。

- ◆計画地：飯田市東和町2丁目35番地
- ◆面積：約0.4ha
- ◆延べ床面積：約12,900㎡
- ◆構造規模：RC造地上5階、地下1階建て
- ◆工事種別：リノベーション
- ◆事業主体：飯田駅前プラザ株式会社
- ◆事業費：全体事業費1,075百万円
[補助対象事業費582百万円 / 補助金額388百万円(国・市各194百万円)]
- ◆駐車場：(仮称) 飯田駅前プラザ地下駐車場 50台
- ◆駐輪場：(仮称) 飯田駅前プラザ西側駐輪場 20台

(2) 公共空間(創発エリア)の施設概要

飯田駅前プラザ株式会社が所有する建物の2・3階を賃借し、飯田市公民館機能、図書館機能、平和学習機能、小中学生の学習支援機能、次世代学習交流支援機能、女性活躍応援機能、多文化共生推進機能、内外の連携・交流推進機能等を導入します。

こうした多種多様な機能を活かし、若者をはじめ、性別、年齢、国籍を問わず市民の皆さんが取り組むムトスの理念に基づいた活動を支援するムトス飯田推進事業の機能を備えます(機能の詳細はP9~P12を参照)。

- ◆計画地：飯田市東和町2丁目35番地 [(仮称) 飯田駅前プラザの2階及び3階]
- ◆賃借面積：3,571.93㎡(2階：1,767.38㎡、3階1,804.55㎡)

(3) 公共空間(創発エリア)の付帯施設概要

駐車場の整備に関しては、以下の3つの視点を基本として検討してきました。

- ① (仮称) 飯田駅前プラザが交通の結節点 (JR 飯田線飯田駅、高速バスや循環バスのハブ) に近接していること
- ② 中心市街地活性化の観点から、駅前エリアの回遊性を向上すること
- ③ 集客力向上のため、飯田駅前プラザ2・3階公共空間(創発エリア)の利用者を含め(仮称) 飯田駅前プラザ利用者にとって利便性の高い駐車場を確保すること

検討の結果、公共空間(創発エリア)の管理者である飯田市が、(仮称)飯田駅前プラザの利用者の駐車スペースを確保するため、現在、高羽町テニスコートとして使用している市有地に駐車場を整備することとします。

なお、管理・運営に関しては、(仮称)飯田駅前プラザの利用者にとって利便性の高い駐車場となるよう、飯田駅前プラザ株式会社と協議・検討を進めます。

- ◆計画地：飯田市高羽町2丁目6番地の1
- ◆現況：飯田市高羽町テニスコート(飯田市体育施設)
- ◆土地所有者：飯田市
- ◆地目：雑種地
- ◆面積：1,620 m²
- ◆駐車可能台数：55台(予定)
- ◆整備工事費：34,498千円

なお、2・3階公共空間(創発エリア)の主な利用者として想定している中学・高校生への対応として、駐輪場の整備及び管理・運営を、飯田駅前プラザ株式会社に要望した結果、20台分の駐輪場を設置していただけることとなりました。

3 公共空間（創発エリア）の考え方

(1) 考え方

- 交流と共感が学びとなり、挑戦を生み、新たな価値を創発

「みつける」「つながる」「育てる・共感する」「実現する」をキーワードに市民の皆さんとともに新たな価値が創造できる場として施設整備を進め、(仮称) 飯田駅前プラザ全体が一体となって最大限の効果を発揮し、様々な交流が相互に連携し合いシナジー（相乗効果）を生み出す施設を目指します。

(2) コンセプト

「ヒト」「モノ」「コト」が集まる創発の場

(3) 方針

- 公共交通の結節点である JR 飯田駅前の好立地を生かし、利便性がよく、多くの人々が利用したくなる施設
- 学習・交流・多文化共生・ムトスまちづくりなどの活動を支援する行政機能を複合化し、導入する各機能の相乗効果が発揮できる施設
- 飯田市の魅力の向上と、多様な価値観を持つ人々がつながり、交流を実感できる施設
- ムトスの精神を活かし、内外の人々の力や知見やアイデアを結び、新しい価値の創造にチャレンジできる施設

(4) 目指す姿

- 内外の知見、アイデアを結び、新しい価値の創発へチャレンジする。
- 学習、交流活動の支援、情報集約、情報発信機能を充実する。
- 地域の未来を担う人材を発掘、育成する。
- 年齢性別等を問わず、誰もが一人でも仲間でも気軽に立ち寄れる場所にする。
- 高校生や若者が、やりたいことや悩みを気軽に相談できる。
- 外国人住民と共に「小さな世界都市」にふさわしい未来を創る。
- 障がいの有無等に関わらず、表現活動や社会参画ができる。
- JR 飯田駅前を起点に、まちを歩き、巡りたくなるきっかけをつくる。
- 中心拠点にとどまらず、飯田市全体、20 地区の地域づくりにも活動をもたらす交流を促進する。

これは、長年、飯田市が地域づくりの合言葉としてきた「ムトス」による、多様な主体の協働による地域づくりにもつながります。

(5) 複合的な機能を有機的に結び付け、活用するためのスタッフ体制

次章に掲げた、導入予定の機能が有機的につながり、また、市民・事業者・行政が協力して創発を誘導するために、常駐する市職員と（仮称）創発コーディネーターが一体となって、来訪者の相談に耳を傾け、適切な情報提供を行うとともに、フリースペースやシェアスペースに集まる人たちの中で、何かにチャレンジしてみたい人たちを見つけるために、積極的にコミュニケーションを図り、多様な活動を応援します。

なお、行政においては市の機構改革を踏まえ、常駐職員以外も必要な部署は積極的に駐在し、公民館部署との日常的な連携を図り、市民の創発を支援する体制としていきます。

4 (仮称) 飯田駅前プラザ2・3階公共空間(創発エリア)に導入予定の機能

(1) 飯田市公民館機能

地区公民館相互の連絡調整を図る機関としての役割を担いつつ、全市を対象とした公民館事業、今日的課題や新たな課題にアプローチするモデル事業を実施します。地域の諸団体と連携協力を図りつつ、住民の自由で主体的な学習活動の支援を通して地域づくりを担う人材を育む役割を果たします。

地域づくりにおける重要な課題として、次世代の育成、ふるさと意識の醸成・ムトス活動の活性化などがあります。このような状況の中で、公民館がこれから充実させていきたい取組として、高校生や青年層に対して地域に関わる学習活動や社会参画意識を促す学習交流活動があります。

地域公共交通の結節点に立地する(仮称)飯田駅前プラザは、青少年、高齢者、外国人など交通弱者の利便性が向上します。その立地を生かし、(仮称)創発コーディネーターを配置して、主に若者が地域とつながるきっかけや、何か新しいことにチャレンジする気持ちを応援する取組につなげます。また、特にムトス活動を支援する行政機能が同居することで、学習から実践活動までを応援できる体制が整います。

さらに、一つのフロアが広く開放的なスペースを活かし、利用者や各団体のお互いの活動が見えて新たな交流が生まれる支援を行っていきます。

(2) 図書館機能

高校生や若い世代が気軽に本に親しみ、本や情報の提供を通して学習交流活動の支援が得られる場として、中央図書館のサテライト機能を設置します。

中央図書館と図書館システムを結び、図書館の基本機能である貸出・返却・予約等のサービスの提供を行います。図書の所蔵数は約 8,000 冊を予定し、気楽に楽しめる本や、若い世代の興味や関心が広がり、将来の夢を見つけたり、地域の活動に繋がったり、中学・高校を通じた学校教育の新たな柱にもなる探究学習に役立つ本などを、テーマに沿って配置します。中央図書館を始め南信州図書館ネットワーク参加図書館の蔵書を取り寄せて借りることもできます。

2階・3階の各スペースやイベント・企画に合わせた本を会場の近くに配置し、多くの人に本を手にとってもらうことで、学びが深まることや、他のスペースに来た人が新たな発見をすることができる複合施設としての効果も想定しています。

(3) 平和学習機能

非核平和都市宣言を標榜する飯田市として、この地域の戦争に関わる歴史的資料を残し、戦争経験を風化することなく後世へ語り継ぐとともに、資料展示や講座実施等の学習活動を展開することで、平和・人権に関心を持ち、よりよい社会をつくる次世代の人材育成をめざします。

資料展示の充実と市民の手による平和・人権学習の機能を備え、学校教育と社会教育、さらには、多文化共生の取組との連携により、多くの市民や子どもたちが平和に触れる拠点としていきます。特に、次世代を担う小中学生や高校生へ平和の尊さを伝え、飯田市の平和・人権学習を一層推進していきます。

(4) 学習支援機能

学校になじめず、学習等に不安を抱えている児童生徒を支援するため、個に寄り添った学習活動や自立活動を民間の支援組織とも連携して支援する機能や、安心できる居場所の提供など、多様で選択的な機能を導入します。また、中学卒業後の世代の継続支援も視野に入れた取組を進めます。

不登校児童生徒が在籍する学校や、不登校児童を支援している民間施設等とも連携しながら、駅前プラザに導入される図書館機能や公民館機能ともつながることで、学習や自立支援機能の効果を高めます。

(5) 次世代学習交流支援機能

(仮称) 創発コーディネーターを配置し、高校生や青年を地域や団体、企業、人との結び付けを行います。

高校生たちの主体性、自律を育むべく、高校生たち自らがルールを定め、管理、運営できる仕組みが可能な検討を行います。また、当地域出身の大学生や、当地域を訪れた大学生や大学教授等が、「ヒト」「モノ」「コト」に関する情報を得られる機会を提供します。

高校の垣根を超えた部活動をイメージし、プラザに集まった高校生が一緒になって叶えてみたいまちづくりの作戦会議の場、実現の場となるよう、コーディネーターや職員が支援します。

学輪 IIDA やインターンシップ、フィールドスタディで訪れた大学生・教授等との交流の場、ネットを通じてつながれる場とし、飯田に居ながらにして探求的な学びができるようにハード・ソフトの両面を整備し支援します。

飯田を訪れる大学生や研究者の気軽な居場所となり、各々の学びや、そこに集う多様な主

体との共同の学びが深まる場としていきます。

(6) 女性活躍応援機能

何かをしたいという思いはあるがどうしたら良いか躊躇している女性、あるいは、自身のライフプラン・キャリアプランをどう描こうか考えている女性などが、気軽に相談できる場とします。

具体的には、(仮称)創発コーディネーターが、来訪者の話を丁寧に聴き取り状況を把握したうえで、その人の望むもの、あるいは何をを目指しているのかを確認し、キャリアアップであったり、再就職、あるいは地域活動など、必要とする分野につなげます。

(7) 多文化共生推進機能

公共交通の結節点に立地する(仮称)飯田駅前プラザは、外国人住民の皆さんにとっても、気軽にアクセスしやすい場所です。そこで、外国人住民の皆さんが日常的に集まり、多様な市民と交流し協働的な活動が生まれる場づくりを進めていきます。

また、飯田国際交流推進協会が常駐し、市と連携して、高校生をはじめ若者からお年寄りまで、外国人住民の皆さんと気軽に、日常的に交流ができる様々な事業を行うことで、国際交流や国際理解を進め、地域の多文化共生社会づくりを推進する拠点にします。

(8) 市民のムトスまちづくり活動の交流・支援機能

市民活動組織で活動する市民と、高校生や外国人住民、飯田市公民館の利用者等を含む多様な市民が交流するなかで新たな活動が生まれます。また、既存の市民活動組織が抱える課題の相談支援を充実させたりすることで、活動の継続や活性化のきっかけをつかめるような機能を高め、市民のムトスまちづくり活動のさらなる推進を図ります。

さらに、飯田市公民館の学習支援機能と、市民のムトスまちづくり活動への支援機能が同居することで、地域課題や地域づくりをテーマにした学習活動から、より実践的な市民のムトスまちづくり活動までをトータルで応援できる機能が高まります。

(9) 内外の連携・交流推進機能

この地域に興味関心を抱き毎年学びに訪れる多くの大学生や研究者等が、交流を通して地域内の様々な主体と関わりながらともに学習や研究を深めていくための環境を整えます。これにより、地域外にある専門的知見や最先端の情報、イノベーションを生み出すための発想などが市民とより広がり・深みをもって結びつき、地域社会の課題解決に向けた取組や次代

を担う人材育成につなげていきます。

公共交通の結節点に立地する（仮称）飯田駅前プラザは、多くの飯田市民はもちろん、観光客等の飯田下伊那に訪れた方など、多くの皆さんが気軽に立ち寄ることができる場所だと考え、日常的に飯田の文化やイメージを発信する場、まちへの回遊を促す XR 技術を活用した拠点機能を整備します。ここでの飯田の文化などに関するデジタルを活用した類似体験を通じて地域の交流機能が促進され、関係人口の創出・拡大へつながっていくことが期待されます。スタジオや XR 等の情報配信に必要な設備は、当地域の文化や資源等に可能性を感じている方が、ファン化していくための「関わりしろ（余白）」として必要なツールであり、楽しみで結びつく志縁組織と地縁組織を結びつけ、協働体験を通じて、地域の新たな主体形成につなげていきます。

(10) その他の機能

(1) ～ (9) の常駐機能に加え、まちなかの賑わいを創出する中心市街地活性化機能、飯田の魅力発信につながるブランド構築や戦略的な情報発信機能等、今後、創発につながる可能性のあると考えられる機能についても、常駐以外の方法で導入していく予定です。

5 公共空間(創発エリア)のレイアウトと機能のイメージ

【2階】(レイアウトは資料 No3)

(1) フリースペース

学校帰りに、仕事帰りに、商業店舗への買い物もしながら誰もが気軽に立ち寄れる場所です。ふと立ち寄った人や、目的を持った人たちが集い、コミュニケーションできる賑やかな居場所として整備します。

色々な人たちが集まるフリースペースに何度も訪れる中で、自分と同じ興味を持つ人との出会いから、一緒になって自分のやってみたいことを見つけ、チャレンジし、形にしていく場所にもなります。自分のやってみたいことや想いを同じにする人との出会いを(仮称)創発コーディネーターなどの市民スタッフや市職員が後押しします。

また、絵画や陶芸、書道等のサークル団体、障がい者団体の皆さんが、自分の作品を発表できる展示コーナーも設置します。さらに、例えば人形劇フェスタ期間中には、多目的ホールとの連動で、人形劇に関する様々なイベントや出展をする等、一定の条件が整えば、フリースペース全体あるいは部分的に、占有したかたちで利用することもできます。

(2) 多目的ホール/楽屋 A・B【貸館対象】

講演会やセミナーはもちろん、市民の皆さんの文化活動(ピアノ発表、演劇、ダンス等)を気軽に発表できる平土間のホールです。(100人程度の収容規模)

また、ホールの椅子はパイプ椅子で可動が可能なためパーティションで区切って、会議室としても利用できます。楽屋は、会議室としても利用できます。

(3) 調理室(キッチンスタジオ)【貸館対象】

調理室機能に加え、地元の郷土料理である五平餅・おたぐりをはじめ、地元の新鮮な野菜、精肉など豊富な食材を活用し調理する場面などを発信できるスタジオとしての機能を整えます。

また、外国人住民の皆さんが母国の料理教室を開いて、日本人住民の皆さんと一緒に料理を作りながら互いの文化を知り合い、コミュニケーションを取ることや、シェフを招聘し地元の食材で料理を提案いただくこと、商業施設とタイアップした料理教室を開催するなど食文化を通じて交流の場を提供します。

(4) 談話室（スタジオ会議室）【貸館対象】

リビング風の雰囲気、創発に必要なクリエイティブな発想が出てくるような会議をしたり、YouTube 等を利用し、地域内外へ飯田を広く情報発信するスタジオとしても活用できるよう発信機能を整えます。

(5) 音楽練習室 A・B 【貸館対象】

少人数での音楽練習ができる場所です。自分だけで練習したい、吹奏楽の同じ楽器を演奏する人だけで個別に練習したい、といった利用に最適です。

(6) XR※室

デジタル技術で年間を通じ「まち」を丸ごと楽しめるコンテンツの拠点となります。5G(第5世代移動通信システム)を活用し、XRの技術を用いながら、DX(ITの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること)することで、市民の発信拠点の場として日常生活の中でも気軽に楽しんでいける場所です。

誰もがデジタルを体験しながら、ワクワクできる事業展開を予定しています。また、来訪者が日常的に情報検索できるようフリーパソコンを設置します。

※XR(エクスアール) 「VR(仮想現実)」「AR(拡張現実)」「MR(複合現実)」等の総称。

(7) リハーサル室【貸館対象】

リハーサル室は、壁の一面が鏡張りの部屋となっており、様々な演技の練習、リハーサルに利用することができます。ダンスや芝居のリハーサルはもちろん、ヨガや健康教室など多様な芸術活動の練習の場としてご利用いただけます。

【3階】（レイアウトは資料 No4）

(1) シェアスペース

2階のフリースペースで見つけた自分のやってみたいことについて、真剣に考え、形にしていく「集中」スペースです。仲間とともにやってみたいことを計画したりする話し合いの場所です。

また、図書館で借りた本を読んだり、高校生が自習したり、ちょっとした仕事もできる空間です。さらに、大学連携事業に関連した学生のゼミや、外国人住民への個別日本語学習指導の場のような、学びの要素が高い利用も想定しています。

(2) 大会議室A・B・C・D【貸館対象】

会議やサークル活動で、目的をもって活動する人や団体が利用できる会議室です。パーティションで最大4区画まで作ることができます。

(3) 図書館

シェアスペースとオープンにつながる、本との気軽な出会いの場です。シェアスペースでゆっくり本を楽しんだり、友達同士で本を眺めたりできます。また、事前に予約した楽譜集を借りて2階のスタジオで演奏するなど、他のスペースの活動と連動した使い方もできます。

司書職員がいるときに使える書棚と、いつでも使えるオープン書棚があります。公共空間（創発エリア）利用時間内にはオープン書棚の本はいつでも読むことができ、セルフ貸出機で借りることもできます。職員がいるときに使える書棚には分野別に本を配置し、職員が本を探すお手伝いをします。何か活動を行いたいとき参考になる本の紹介や取り寄せなどのサポートも受けられます。

(4) 平和祈念館

戦争遺品の常設展示を行い、地域の小中学生や高校生が世界平和や人権について学べる場所です。平和資料の展示替え、平和に関する講座を行い、日常的に市民が平和について学べる場所として運営します。

(5) 学習支援室

学校や学級になじめない児童生徒が、学習活動等を行う場です。時には、保護者を含めた相談の場、駅前プラザに導入される図書館機能や公民館機能ともつながる場、そして、不登校児童生徒を支援している民間施設等ともつながり支援する機能を持つ場所として運営します。

(6) 中会議室【貸館対象】

スタンディング式の会議室で、シェアスペースで考えたことを議論する会議室です。また、立ちながらの利用という点から、短時間の打ち合わせでも利用できます。

(7) 和室【貸館対象】

習字や琴、舞踊などで利用できる 20 畳程度の部屋です。会議室や大会議室で開催する研修会等の講師の控室や打ち合わせスペースとしても利用できます。

6 交流と創発を生み出す仕掛け

公民館機能とムトスマちづくり活動の交流・支援機能が有機的に結びつくことで、次のような仕掛けを想定しています。

具体的な活動については、昨年の10月に立ち上げた市民ワーキングと協働により、より具体的な仕組みづくりや交流を生み出す活動を検討し、グランドオープン後から具体的に活動が「日常化」「見える化」するよう進めていきます。

(1)交流を生み出す仕掛けのイメージ

キーワード	交流内容を生み出す仕掛け(例)
企業連携	<ul style="list-style-type: none"> ○複合施設にテナントとして入居する企業や事業者の皆さんから仕事に対する想いや具体的な仕事の内容についてお話を伺う機会を設ける。 ○各民間企業の取組を紹介する。(産業経済部つなぐ事業との連携)
商業連携	<ul style="list-style-type: none"> ○商品開発した地元商品を販売する。 ○食材を利用したタイアップ料理教室を開催する。 ○商業施設と連携した講座等を開催する。
中心拠点と地区 拠点連携	<ul style="list-style-type: none"> ○20 地区の地域づくり拠点である地区公民館とタイアップした事業を展開する。 ○交流拠点（天龍峡や遠山郷）などの魅力を発信する。

(2)創発を生み出す仕掛けのイメージ

キーワード	創発を生み出す仕掛け(例)	対象(例)
世代間や多文化 など交流を通じた 学び合い	<ul style="list-style-type: none"> ○地域づくりの実践者や団体と若者との交流から新たな視点や発想が生まれる。 ○地域の文化や自然、歴史等の研究者・実践者と市民が交流することにより、地域資源の多様性や奥深さを知るとともに次世代育成につながる。 ○企業や大学の知見を得ることにより若者に探求心が芽生えるとともに、自身の生き方を考える機会となる。 	高齢者、若者、市民

外部の人材や知見との、出会い、交流、学びあい	<p>○飯田を訪れる大学生や研究者が自由に集うたまり場となる。</p> <p>○フィールドスタディや調査など、飯田に関する学習・研究活動の展開や、報告・発表による情報を発信する。</p> <p>○市民乗り入れ型のワークショップやゼミなど、学際性・専門性を活かした、学問のおもしろさに触れる取組を実施する。</p>	大学生、研究者、市民
学習交流活動と本をつなぐ	○各フロア、各会議室で行われる学習交流活動へ図書館から情報提供を行い、活動内容を深める。	若者、市民
日常的な国際交流の場の創出	○外国人住民とフリースペースで気軽に交流するなどの日常的な国際交流や多文化理解を深める。	外国人住民、市民
デジタル技術を活用した交流	○YouTube等を使って飯田の文化、イメージを発信し地域内外の人と双方向でつながる。	市民、飯田ファン、観光客
食を通じた関係人口の創出・拡大	○キッチンを活用した食文化や地元食材のPRやブランド化を進めたり、1階商業施設で販売する。	市民、若者、飯田ファン
平和の尊さを語り継ぐ	○他の目的で訪れた市民や子どもが資料展示や講座に立ち寄ることで、平和や人権に触れる機会を創出する。	子ども、若者、市民
日常的な文化活動の拠点	○いいだ人形劇フェスタ、丘フェス、オケ友などイベント時以外でも文化に触れられる仕掛けをつくる。	市民、劇人、演奏者、観光客
女性のキャリアアップ支援	○自身のライフプラン・キャリアプランをどう描こうか考えている女性が、(仮称)創発コーディネーターの支援の下、気軽に相談でき、再就職やキャリアアップにつながる。	女性

(3)フリースペース（2階）・シェアスペース（3階）の運営体制

交流や創発活動の中心となる、フリースペースとシェアスペースを活用するための運営チームを設立します。この運営チームは(仮称)創発コーディネーターが中心となり、複数の(仮称)創発サ

ポーターや常駐する市職員とともに、共通の思いを抱く市民や団体をつなげ、その活動を支援します。

また、高校生や若者によるフリースペースとシェアスペース運営チームも設立し、彼らの運営に対する考えも取り入れながら、高校生や若者が集えるフリースペース、シェアスペースの運営を行っていきます。

こうした運営チームが、明確に目的をもって来る人ばかりではなく、買い物や学校帰りの時間つぶしに立ち寄る人たちにも、自分たちのやりたいことを見つけて、それにチャレンジしてもらうように誘導し、必要に応じて支援を行う必要があります。

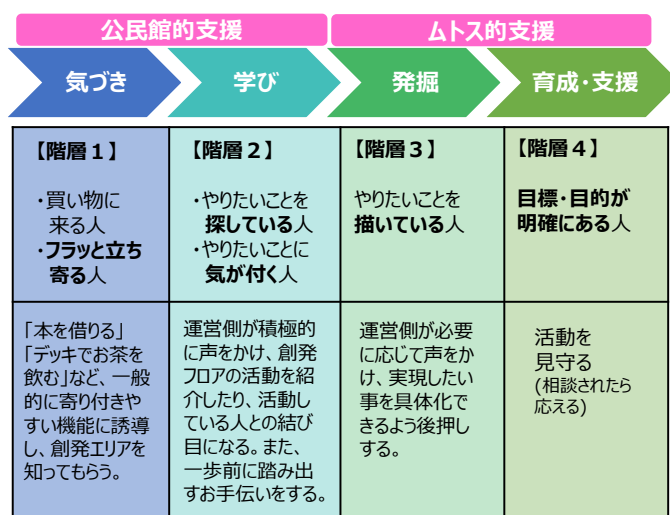
そこで、公民館機能とムトスまちづくり活動の交流・支援機能が連携する創発エリアの特性を生かし、多くの市民が、自分がやりたいことに気づき、それを実現していけるよう、(仮称) 創発コーディネーターを配置します。

この(仮称) 創発コーディネーターが、フリースペースとシェアスペースの運営チーム、市と連携し、下図にある階層や創発活動の段階に応じて、飯田市公民館の学習支援と、ムトス飯田推進事業の支援による、柔軟な支援を行います。こうした支援によって、同じ思いを持つ多様な価値観を持った人同士を結びつけることで、創発を生み出していきます。

また、こうした過程から、高校生や若者等、地域の将来を担う人材の確保、育成も行います。

創発エリアに集う階層と階層ごとへのアプローチのイメージ

～公民館機能+ムトス機能による切れ目のない支援を実現するために



(4)創発に向かうある高校生～創発が生まれるイメージ～

●私は国際学科に所属する高校生です。授業で世界平和と多文化共生について学びました。時々立ち寄っている駅前プラザの3階に、平和祈念館があることを思い出し、授業で学んだことをもう少し深く考えられると思い、同じクラスの友人数名と立ち寄り、興味深く見学していました。するとちょうど通りかかった、創発コーディネーターと市の職員に、XR室にいつも集まっている人たちが編集したわかりやすい映像があるから、ちょっと見てみたら、と声をかけられ見てみました。とてもリアルに感じられる映像を見終わって、今年のグループ課題研究のテーマはこれで行こう、という話になり、隣の図書館に寄ったところ、戦争と国際平和に関する本が展示してありました。図書館の司書に尋ねると、この本は、自分たちの課題研究のテーマにぴったりだ、ということを知りました。



●駅前プラザの告知ボードをみたら、飯田市公民館で発展途上国での実体験もできる高校生講座を開講することを知りました。頭でわかりかけたことを、もっと実感を持って知りたい、考えたいと思い、友だちを誘って申し込みました。

●シェアスペースで、グループ研究の課題を進めていくことになり、翌日、課題研究をしていると、図書館に寄ったという初老の男性が声をかけてきました。自分の親は中国からの帰国者で、飯田市には中国にルーツを持つ人をはじめ、多くの外国人住民が暮らしている、事務所の担当職員に聞けば、色々教えてくれる、と言ってくれました。

●担当職員の人に話すと、飯田には国際交流の協会があって、そこにこの地域に長く住んで活躍している人が何人もいるから紹介してあげる、と言われ、協会の関係者や外国人住民の方にいろいろな話を聞くことができました。



●その中の外国人住民の方から、今度、フィリピン料理教室をプラザの調理室でやるから、参加してみない、その国の料理からその国の文化や風習も学べるよ、と誘われ、料理教室に参加しました。多くのフィリピン人住民と料理を作り、おいしく食べながら、フィリピンのことや、自分たちがどうして飯田で暮らしているかという話が聞けました。

●一緒に料理を作ったフィリピン人住民の方から、週末に**地区の公民館**で日本語の勉強をしているから、参加して日本語も教えてよ、と誘われ、日本語教室に参加しました。教室では、実際にコミュニケーションを取りながら、日常会話で使う日本語を教える体験ができました。また、教室が終わった後、教室を運営している支援者の方から、教室が始まった経過や、その地域の課題なども聞くことができ、誰もが暮らしやすい地域を目指して活動されている方がいるということがわかりました。

●シェアスペースで課題研究のまとめをしていると、近くで何やら議論をしていた**大学生のお兄さん・お姉さん**が話しかけてきました。その人たちは飯田をテーマにした論文を書くための調査で飯田を訪れていたそうで、私たちの研究の話をする**と、たくさんのアドバイスを**してくれました。大学生の全然違ったものの見方や発想に驚き、とても刺激をもらおうと同時に、**大学へ行って学ぶ**ことにも興味を持ちました。

●地域の人たちの奥の深い話が聞けて、大学生のアドバイスをもらいながら、課題研究もうまくまとまり、**多目的ホール**で他のグループとともに**発表会**を行い、親子連れなど多くの市民が聞いてくれました。中には、高校に行ったら、海外に留学してみたい、という中学生の親子から相談を受けました。自分たちの高校生活を話すときに、**多くの高校生がプラザに立ち寄って、色々な人と交流**しながら自分たちのやってみたいことを見つけて、この場所で色々な活動をしていることも紹介してあげました。



●発表の中で、世界平和や多文化共生について考えるイベントをしてみたい、と発表したところ、**ムトス飯田若者応援事業の窓口**があるよ、と創発コーディネーターが教えてくれました。せっかくここまで頑張ったので、この事業を利用して、研究に協力してくれた皆さんと共にプラザでできるイベントを企画してみよう、ということになりました。できれば、世界中から劇人が集まり、街中が賑わう、人形劇フェスタの時期にしてみたいなあ、と思っています。

(5)新しい交流の場 ショートストーリー(イメージ)

①学校帰りの**高校生**編

電車待ちの高校生が飲み物とおやつを買いに**商業施設**へ。会計後レジの隣で困っていたのは、ブラジル人の女性。2階の料理教室で利用する食材を運べず困っていたので運んであげた。お礼

にお料理のレシピをもらい次回は参加するようにと誘われ、仲良くなって帰った。

②買い物にきた女性編

特売のチラシをみて商業施設にきた女性。買い物を終えて帰ろうとすると、何やら大学生がアンケートに答えて欲しいと質問に。時間があつたからとりあえず 2 階で話をするに。焼肉についての質問。まさか、今日うちが焼肉ってわかったの?! なんと一週間も飯田に滞在して去年もきているそう。秘伝のタレを明日持ってきてあげることにした。

③I ターン世帯編

飯田に最近住み始めたご夫婦。飯田の情報が知りたくて 2 階へ。XR 室ではナミキちゃんがゴミの分別の仕方や袋の代金まで教えてくれた。部屋の中には何やら**ゴーグルをかぶって**足を桶に入れている人が・・・覗いてみるとなんと天龍峡のりんご足湯に入るナミキちゃんがいた。大自然の中で空気が綺麗な感じ! 天龍峡の足湯に行ってみたくなった。

④飯田市公民館を利用していた**サークルの皆さん**編

以前より吾妻町の公民館を拠点に絵画の活動をしていました。公民館が**飯田駅前に移転**して、今までの活動が継続できるのか不安に思っていました。でも、**時間や料金も今までと同じよう**になっており安心してあります。**事務室の皆さん**も親切に対応してくれます。

毎回、絵画の道具を運搬するので、建物の向かい側の**駐車場**を利用しています。家が近い人は健康のため、歩いて来ています。今日は、サークル活動の後、みんなでユニー通りのオシャレなお店で夕食をとるため、**電車**で来ました。**バス**で来た人もいます。午前中にかかりつけ医に寄って、1階で薬をもらっていくメンバーもいます。

サークル活動は、主に**3階会議室**で行っていますが、多くの高校生が居て今までの公民館と雰囲気が変わり、活気が感じられます。会議室は、**ガラス張り**で、最初は恥ずかしかったのですが、先日、**自習で来ていた高校生たち**から「お上手ですね」と声をかけられ、私も「今度一緒にどうですか」と返答し、**意気投合**しました。この高校生たちは、高校の美術部に所属しているようです。他にも、他のサークル団体さんから声を掛けられることが多くなりました。

私たちのサークルは、高齢者のみで、新しい人がなかなか入らず**活動を続けていけるのか不安**でしたが、このような機会ができて嬉しいです。

年 1 回、**フリースペースや会議室**をお借りして**展示会**をしています。電車、バス、駐車場があつて、以前より来やすくなった上、**商業施設のお客さん**にも宣伝できて、とても気合が入っています。

7 (仮称)飯田駅前プラザ及び公共空間(創発エリア)の管理・運営について

(1) (仮称) 飯田駅前プラザの管理・運営について

- 管理・運営主体：飯田駅前プラザ株式会社

(2) 公共空間（創発エリア）の施設管理について

- 所 管：飯田市教育委員会、市民協働環境部
- 賃貸面積：3,571.93 m²（2階：1,767.38 m²、3階 1,804.55 m²）
- 条例制定事項
 - 飯田市公民館条例（昭和 51 年 10 月 2 日条例第 37 号）
 - 飯田市立図書館条例（令和 2 年 6 月 30 日条例第 47 号）
- 貸館対象機能
 - ・ 2 階 多目的ホール／楽屋 A・B／調理室／談話室／音楽練習室 A・B／リハーサル室
 - ・ 3 階 大会議室 A・B・C・D／中会議室／和室
- 開館時間 8：30～22：00 年末年始は休館
 - ※図書館の司書職員配置
 - 月・水・金曜日 15 時～20 時、土・日曜日 10 時～18 時を予定
- 備品購入費：49,336 千円

(3) 駐車場の管理・運営について

- 駐車場の整備について
 - ・飯田駅前プラザ株式会社は、(仮称) 飯田駅前プラザ地下駐車場を利用客駐車場として整備することを検討し取組を進めてきました。また、ファミリーマート横駐車場は、駐車場事業として(仮称) 飯田駅前プラザに入居するテナントに貸し出すことを想定した駐車場として整備するよう検討してきました。
 - ・一方、飯田市は、現在高羽町テニスコートとして利用している市有地に公共空間（創発エリア）の付帯施設として駐車場を整備（整備する駐車場は以下「高羽町駐車場」という。）することを検討し、その取組を進めてきました。
- 共同利用一括管理方式の採用による普段使いの駐車場を近傍に確保
 - ・それぞれの駐車場確保に向けた取組の中で、飯田駅前プラザ株式会社と飯田市は協議を重ね、飯田駅前プラザ株式会社が設置する(仮称) 飯田駅前プラザ地下駐車場、(仮称)

飯田駅前プラザに入居するテナントに貸し出すことを想定していたファミリーマート横駐車場と、飯田市が整備する高羽町駐車場の3カ所の駐車場を共同利用一括管理方式（事業スキーム図参照）での運営について合意しました。これにより、（仮称）飯田駅前プラザの近傍駐車場であるファミリーマート横駐車場は、公共空間（創発エリア）の利用者が利用できる駐車場となり、あわせて、（仮称）飯田駅前プラザ地下駐車場にも駐車スペースを確保することができることとなりました。引き続き、（仮称）飯田駅前プラザを利用するすべての市民にとって利便性の高い駐車場となるよう飯田駅前プラザ株式会社と協働して取組を進めます。なお、すべての駐車場の利用料は無料とし、飯田市はプール案分方式により算出された駐車場管理費を飯田駅前プラザ株式会社に支払います。



■ (仮称) 飯田駅前プラザ駐車場一覧

駐車場名称	駐車場の位置づけ	台数
(仮称)飯田駅前プラザ 地下駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ●短時間(2時間程度を想定)の(仮称)飯田駅前プラザ利用者用駐車場 【想定する利用者】 ・障がいのある方や高齢の方 ・ツルハドラックの利用者 ・短時間での公共空間(創発エリア)利用者 	50台
ファミリーマート 横駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ●(仮称)飯田駅前プラザ利用者用駐車場 【想定する利用者】 ・公共空間(創発エリア)利用者 	25台
高羽町駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ●(仮称)飯田駅前プラザのテナント従業員等用駐車場 【想定する利用者】 ・(仮称)飯田駅前プラザに入居するテナントの従業員や関係者 ・公共空間(創発エリア)の管理・運営スタッフ及びイベント時の運営スタッフ等長時間の駐車 	55台
市営飯田駅駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ●イベント等で公共空間(創発エリア)を利用する方など 	70台
合 計		200台

8 今後の事業スケジュール（予定）

2021年 (令和3年)	8月中旬	本体工事着工(外壁工事から開始)
	9月～	市民ワーキングにて運営のあり方の検討
	11月下旬～	令和3年度飯田市議会第4回定例会 ※議案(12月補正、条例改正)
	11月下旬	管理方法詳細協議
	12月下旬	別工事及び備品順次発注 駐車場整備開始
	2022年 (令和4年)	2月下旬
3月末		本体工事完了
4月		業務開始準備(引っ越し、移転)
5月中旬		オープン(予定)